

学校教育目標

さっきゃま魂の定義

米作ができない厳しい環境に、自ら進んで行動し（自主）、強靱な精神力で挑戦を続け（錬磨）、さらに仲間と助け合いながら（友愛）、一生懸命働き（勤労）、豊かな人間性と里を築いてきた先人から脈々と伝わる美点で、校訓に込められた継承すべき崎中生のめざす生徒像

さっきゃま魂の誇りを胸に ふるさとに貢献する 青年の育成

- ・日本国憲法
- ・学校教育法
- ・長崎県・五島市教育方針
- ・生徒の実態
- ・保護者の願い
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・教師の願い
- ・地域の願い

さっきゃま魂（めざす生徒像）
先人から脈々と伝わる

- ・①進んで挨拶し、行動する魂
- ・②ふるさと、人を愛する魂
- ・③粘り強く、あきらめない魂
- ・④奉仕の心で働き抜く魂

校訓 古き良き伝統を守り続けます
（育成すべき資質・能力）

さっきゃま教師（めざす教師像）
○教育に一生懸命で信頼される教師

- ①進んで挨拶し、行動する教師
- ②生徒一人ひとりに寄り添うことのできる教師
- ③研鑽に励み、高みを目指す教師
- ④笑顔で率先垂範し、生徒と共に汗を流す教師

さっきゃま中（めざす学校像）
○ふるさとから信頼される学校

- ①挨拶が木霊し、活気溢れる学校
- ②笑顔あふれ、一人ひとりが輝く学校
- ③心身、頭の鍛錬を行う学校
- ④伝統を継承し、地域に貢献する学校

令和2年度 重点努力目標

- やる気を引き出す教科指導の充実（学習意欲の向上）
- 家庭・地域との連携・協働体制の構築（家庭学習、挨拶等）
- 自主的・主体的活動の充実（自己有用感の高揚）

キーワード

- さっきゃま魂
- 主体性
- 連携と協働

三本柱

- ①一人ひとりに寄り添い、生徒の力（可能性）を信じる特別支援教育の推進
 - (1) 生徒一人ひとりを輝かせる特別支援教育の充実を図る。
 - (3) 「さっきゃま魂」の実践と継承こそ、本校教育の神髄である。
 - (5) 「笑顔で率先垂範」教育をする。
- ②将来を見据えた教育の推進（自己鍛錬力、自己表現力、課題解決力）
 - (2) 未来を生き抜く青年の将来を見据えた教育を推進する。
 - (4) ふるさと「さっきゃま」を根底においた教育を進める。
- ③ふるさと「さっきゃま」に誇りを持ち、ふるさとに貢献する教育の推進
 - (6) 全職員の信頼と連携・協働のもと同僚性の高い職員集団をつくる。

●地域、保護者との連携

- ・教師と父母の会、部活動振興会活動の充実
- ・学校支援会議の充実、活用
- ・地域人材の活用
- ・学校参観の啓発
- ・HPの充実
- ・地域行事への積極的参加
- ・学校、学級だよりの定期的発行
- ・コミュニティ・スクール化への準備

●小・中連携

- ・小・中合同運動会の開催
- ・各種行事における交流（中総体、合唱祭等）
- ・合同研修会の実施（年間3回＋1回）
- ・校訓を意識した「さっきゃま魂」の共通実践
- ・共通実践指導事項（学習面・学習環境面・キャリア教育）
- ・読み聞かせの実施

研究主題
「**学びに向かう力を高める**
心豊かな青年の育成」
～学びのユニバーサルデザイン化
の確立と学力の向上を目指して～